

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010100	事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	市民体育館管理事業	予算事業名	市民体育館管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	朝田 訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民体育館改修					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者					
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用件数	件	7351	7592	5486	
	利用者数	人	110025	95646	53209	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.340	0.340	100	0.340	100	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	3,340,340	3,295,309	99	3,113,157	94	
	事業費	12,016,632	9,621,867	80	19,068,326	198	
	合計	15,356,972	12,917,176	84	22,181,483	172	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	1,831,745	1,888,170	103	2,007,960	106	
	一般財源	13,525,227	11,029,006	82	20,173,523	183	
合計	15,356,972	12,917,176	84	22,181,483	172		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況						
指標説明(式)		市民体育館利用人員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	100000	113000	113.0	100000	88.5	0.0	
	実績	110025	95646	86.9	53209	55.6		
指標名2		市民体育館利用状況						
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0		
	実績	3664	4046	110.4	2768	68.4		

【効率性】

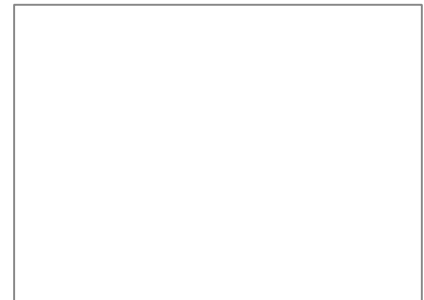
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	12689000	11636000	91.7	11978000	102.9			
	実績	12015579	9621867	80.1	19068326	198.2			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1050000	1050000	100.0	1050000	100.0			
	実績	2530116	788300	31.2	1087900	138.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナウイルス対策として休館や利用の制限をしたことにより競技場をはじめとする各室の利用が減少した。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も効率的に維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010200	事業の種類	2
年度	2	事務事業名	市民プール管理運営事業	予算事業名	市民プール管理運営事業 優先度 2
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	平松 孝夫	担当者名 朝田 訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		市民プール改修事業	市民プール改修工事		
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者			
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	利用者数(総数)	人	3324	3312	1637
	利用者数(中央プール)	人	0	0	0
	利用者数(西部プール)	人	3324	3312	1637

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100		
	臨時職員		0.000	-	0.000	-		
支出内訳	人件費	964,460	965,909	100	912,520	94		
	事業費	7,973,080	6,152,200	77	6,499,200	106		
	合計	8,937,540	7,118,109	80	7,411,720	104		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	0	0	-	0	-		
	一般財源	8,937,540	7,118,109	80	7,411,720	104		
合計	8,937,540	7,118,109	80	7,411,720	104			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況						
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	3400	85.0	0.0	
	実績	3324	3312	99.6	1637	49.4		
指標名2		市民プール利用状況						
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	1500	1500	100.0	1500	100.0		
	実績	1155	976	84.5	0	0.0		

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額。28年度からは指定管理							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	6274000	6274000	100.0	6500000	103.6			
	実績	5974000	6152200	103.0	6499200	105.6			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2300000	300000	13.0	300000	100.0			
	実績	1999080	178200	8.9	299200	167.9			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校授業としての利用者はできなかったが、一般の利用者に快適に利用していた。	3
	組織運営・適正管理	専門事業者に管理委託することにより、制約のある中でも利用者にとって魅力のある、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	指定管理することにより、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		施設が老朽しており、有効な維持管理が求められる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010300		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業		予算事業名	市民グラウンド管理運営事業	優先度	3
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	朝田 訓弘
		取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		スポーツセンター土壌改良工事			東部公園グラウンド改修事業			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者						
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用者数	人	19319	13777	11535	
	利用件数	件	180	119	157	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.360	0.360	100	0.360	100		
	臨時職員	0.080	0.080	100	0.080	100		
支出内訳	人件費	3,267,500	3,239,109	99	3,028,338	93		
	事業費	3,711,659	17,777,594	479	8,712,102	49		
	合計	6,979,159	21,016,703	301	11,740,440	56		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	425,375	6,968,400	1,638	382,350	5		
	一般財源	6,553,784	14,048,303	214	11,358,090	81		
合計		6,979,159	21,016,703	301	11,740,440	56		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民グラウンド利用状況						
指標説明(式)		市民グラウンド利用人員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	20000	18000	90.0	18000	100.0	0.0	
	実績	19319	13777	71.3	11535	83.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3841000	4002000	104.2	3971000	99.2			
	実績	3511659	17777594	506.2	8712102	49.0			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	110000	15110	13.7	110000	728.0			
	実績	41040	14161400	34506.3	3951750	27.9			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。新型コロナウイルス対策で2か月休場したこともあり、利用者数は大きく減となった。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対処により効果的に最小限の費用で対応できている。	3
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、良好で適正な維持管理を行い、屋外スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性		施設の一部が老朽化しており、不調の早期発見に努め、対処する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		使用実態に即した委託管理を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010400	事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	朝田 訓弘
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	温水プール改修事業		温水プール改修工事			
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者				
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	利用者数	人	147819	150635	101074

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.324	0.324	100	0.324	100	
	臨時職員		0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,778,356	2,769,069	100	2,564,400	93	
	事業費	21,094,720	22,951,370	109	42,931,710	187	
	合計	23,873,076	25,720,439	108	45,496,110	177	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	580,920	580,920	100	531,840	92	
	一般財源	23,292,156	25,139,519	108	44,964,270	179	
合計	23,873,076	25,720,439	108	45,496,110	177		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		温水プール利用状況						
指標説明(式)		温水プール利用人員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	140000	150000	107.1	153000	102.0	0.0	
	実績	147819	150635	101.9	101074	67.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	22200000	23030000	103.7	31850000	138.3			
	実績	21094720	22951370	108.8	42931710	187.1			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3200000	3100000	96.9	13900000	448.4			
	実績	2165400	3172970	146.5	8563940	269.9			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	軽微な修繕はあるものの、指定管理者の運営努力により時間、施設を有効に活用したが、新型コロナウイルス対策の休館により利用者が減少した。	3
	組織運営・適正管理	利用者の方向性に応じた運営を行い、要望に対しては迅速な対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	会員選択制のプログラムを充実させること、会員から要望に対応したトレーニングコースを新設するなど、会員および利用者の獲得に努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	利用者が多い施設であるため、安定確実な稼働を確保する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	宮下 忠和		担当者名 中谷 有輝
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進するため、海洋スポーツクラブに事業委託を行い、又活動拠点の海の環境交流ハウスの維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	参加者	人	580	554	157	
	会員数(子ども)	人	19	12	11	
	活動回数	回	16	19	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.004	0.024	600	0.024	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	399,476	552,069	138	533,400	97	
	事業費	677,784	718,436	106	654,912	91	
	合計	1,077,260	1,270,505	118	1,188,312	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,077,260	1,270,505	118	1,188,312	94	
合計	1,077,260	1,270,505	118	1,188,312	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者						
指標説明(式)		参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	900	700	77.8	600	85.7	0.0	
	実績	580	554	95.5	157	28.3		
指標名2		会員数(子ども)						
指標説明(式)		会員数(子ども)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標	20	15	75.0	15	100.0		
	実績	19	12	63.2	11	91.7		

【効率性】

指標名1		会員(子ども)1人当たりに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷会員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	54839	82854	151.1	82826	100.0			
	実績	56698	105876	186.7	108029	102.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員に対しては、相生湾特有の穏やかな波を活かし海洋訓練を実施することで、海洋スポーツの普及、推進が図れている。	3
効率性	手段の最適性	海洋スポーツの普及、推進を図る上では、B&Gあいおい海洋クラブへの事業委託は妥当である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実技訓練のみの実施となったが、海洋スポーツの普及、推進を図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	会員数が減少傾向にある中、より幅広い市民を対象とした活動を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	海洋スポーツの普及、推進に加え、相生湾の活性化を図るような活動を実施する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	朝田 訓弘	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2

3 投入資源

インプット指標		一般会計			事業費単位:円		備考	
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.222	0.222	100	0.222	100		
	臨時職員		0.000	-	0.000	-		
支出内訳	人件費	2,020,088	2,015,289	100	1,873,860	93		
	事業費	173,940	160,830	92	165,068	103		
	合計	2,194,028	2,176,119	99	2,038,928	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,194,028	2,176,119	99	2,038,928	94		
合計	2,194,028	2,176,119	99	2,038,928	94			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議						
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	0.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	3	3	100.0	3	100.0			
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	193000	192000	99.5	192000	100.0			
	実績	173940	160830	92.5	130200	81.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	スポーツ関連の幅広い団体からの参画により社会体育振興事業の推進に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委員構成の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	候補者に関する情報収集の段階で若返りと女性委員割合を意識し調整する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	スポーツ活動推進事業		予算事業名	社会体育振興事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名 平野 慎司
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	市民体育大会事業等	種目数	18	18	11	
	優秀選手激励制度	件	14	4	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.664	0.656	99	0.656	100		
	臨時職員	0.140	0.120	86	0.120	100		
支出内訳	人件費	5,693,576	5,528,549	97	5,142,367	93		
	事業費	2,292,686	2,188,885	95	1,783,290	81		
	合計	7,986,262	7,717,434	97	6,925,657	90		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	250,000	249,000	100	249,000	100		
	一般財源	7,736,262	7,468,434	97	6,676,657	89		
	合計	7,986,262	7,717,434	97	6,925,657	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数						
指標説明(式)		市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:18種目 その他:4事業						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
事業	目標	22	22	100.0	22	100.0	0.0	
	実績	22	21	95.5	12	57.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	119636	116545	97.4	116545	100.0			
	実績	104213	104232	100.0	148607	142.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が選択できるよう、幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各事業の一人当たりに係る必要事業費等を抑えつつも、有効な事業費の執行に努めていく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業		予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	平野 慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)					
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	相生湾テニスコート	チーム	54	39	0	
	少年親善剣道大会	チーム	76	111	0	
	ジュニア陸上競技教室	人	111	119	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.644	0.632	98	0.632	100	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	5,600,276	5,453,189	97	5,089,997	93	
	事業費	1,370,000	1,380,000	101	390,000	28	
	合計	6,970,276	6,833,189	98	5,479,997	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	306,000	306,000	100	306,000	100	
	一般財源	6,664,276	6,527,189	98	5,173,997	79	
合計	6,970,276	6,833,189	98	5,479,997	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業						
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
事業	目標	12	13	108.3	13	100.0	0.0	
	実績	13	13	100.0	7	53.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	114166	106153	93.0	110000	103.6			
	実績	105384	106153	100.7	55714	52.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大会参加により、競技力の向上が図られている。	3
	市民サービス	新型コロナウイルス対策による制限があったが、できる限り子ども達に取り組みやすい教室やスポーツをするきっかけとなる場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	3
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に重点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係団体との連携、調整により日程や事業内容を充実させる。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業		予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	平野 慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	あそぼうる	回	5	4	3	
	ターゲットバードゴルフ	回	8	8	5	
	グラウンドゴルフ	回	5	4	3	
スポーツフェスティバル参加者数		人	1291	1140	441	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.790	0.790	100	0.790	100		
	臨時職員	0.252	0.250	99	0.250	100		
支出内訳	人件費	6,940,388	6,850,309	99	6,407,402	94		
	事業費	4,000,000	3,844,578	96	2,091,494	54		
	合計	10,940,388	10,694,887	98	8,498,896	79		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	465,000	465,000	100	465,000	100		
	一般財源	10,475,388	10,229,887	98	8,033,896	79		
合計		10,940,388	10,694,887	98	8,498,896	79		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数						
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
事業	目標	20	20	100.0	20	100.0		0.0
	実績	20	18	90.0	12	66.7		
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数						
指標説明(式)		参加者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	1300	1400	107.7	1300	92.9		
	実績	1291	1140	88.3	441	38.7		

【効率性】

指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2000	2000	100.0	2153	107.7			
	実績	2168	2456	113.3	2929	119.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるように常にプログラム内容や会場構成の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、スポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	パラリンピック種目である「ボッチャ」の普及を行うため、指導者の養成や体験する機会をつくる。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名	平野 慎司	
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	スポーツ教室参加者数	人	279	268	130	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,629,020	1,577,909	97	1,573,175	100	
	事業費	870,120	765,760	88	351,980	46	
	合計	2,499,140	2,343,669	94	1,925,155	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	877,000	874,000	100	305,000	35	
	一般財源	1,622,140	1,469,669	91	1,620,155	110	
合計	2,499,140	2,343,669	94	1,925,155	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数						
指標説明(式)		参加者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	268	280	104.5	280	100.0	0.0	
	実績	279	268	96.1	130	48.5		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3272	3121	95.4	3114	99.8			
	実績	3143	3261	103.8	2707	83.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナウイルス対策のため、通年どおりの開講ができないため、参加者数は昨年度より減少した。	3
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。有料で申込によるため出席率は高い。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも通常年の開催回数は3期であり、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、新たに参加する方にも親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在参加できていない方たちについて分析し、これからスポーツができるよう工夫を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	既設教室のPRと新規講座を開講し参加を促す。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名 平野 慎司
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	スポーツ顕彰	件	39	30	9	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.260	0.260	100	0.260	100	
	臨時職員		0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,302,580	2,296,109	100	2,131,120	93	
	事業費	79,600	105,600	133	17,200	16	
	合計	2,382,180	2,401,709	101	2,148,320	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,382,180	2,401,709	101	2,148,320	89	
合計	2,382,180	2,401,709	101	2,148,320	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数						
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	58	58	100.0	58	100.0	0.0	
	実績	39	30	76.9	9	30.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3448	3844	111.5	3844	100.0			
	実績	2041	3520	172.5	1911	54.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受賞資格が明確になっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象者の的確な把握を行うこと。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501021000		事業の種類	
年度	2	事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業		予算事業名	優先度
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	担当者名
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	主要事業の指定
実施計画事業名		東京2020オリンピック聖火リレー事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)					
	誰(何)を対象として					
	意図(どのような状態にしたいのか)					

2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円			備考
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		
人員	部長以上職員	0.000	0.029	-	0.030	103		
	参事以下職員		0.020	-	0.020	100		
	臨時職員		0.000	-	0.000	-		
支出内訳	人件費		522,509	-	506,320	97		
	事業費			-		-		
	合計		522,509	-	506,320	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源		522,509	-	506,320	97		
合計		522,509	-	506,320	97			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松 孝夫	担当者名 平野 慎司
		取組み事項	スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	スポーツ推進委員会	回	9	9	8		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.324	0.324	100	0.324	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,833,736	2,820,069	100	2,619,455	93	
	事業費	3,265,200	3,217,400	99	1,794,400	56	
	合計	6,098,936	6,037,469	99	4,413,855	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	6,098,936	6,037,469	99	4,413,855	73	
合計	6,098,936	6,037,469	99	4,413,855	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数						
指標説明(式)		スポーツ推進委員数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	28	28	100.0	28	100.0	0.0	
	実績	28	28	100.0	28	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3116000	3116000	100.0	3116000	100.0			
	実績	3032400	3217400	106.1	1603600	49.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	4
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。資質向上のための研修にも積極的に参加している。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の企画と進行をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	改選の際は若返りを図りつつ、地域や種目のバランスを図っている。今後も適任者の発掘に努めていく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして自覚し、積極的に活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツリーダーの確保や育成が重要であり、多様な種目、地域から委員を選出し、組織の新陳代謝を図っていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	組織として活動の安定を図りつつ、将来を考慮した効率的な配置を行い、コストの削減を図る。

配点	25
総合評価	17